



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年7月19日 第30号

発行者：校長 菅野 定行

## 野球部夏の大会

### ～内海主将率いる野球部、強豪塩釜高に善戦～



7月15日（日）西翔祭の次の日、本校野球部が南三陸町平成の森しおかぜ球場で全国高校野球宮城県大会に臨みました。相手は同じ東部地区の強豪・塩釜高校。春・夏・秋の県大会上位常連校で、今春も県16強入りの難敵でした。

内海拓人主将はじめ3年生3人と主務1人だけの若いチームで、しかも内海主将を怪我で欠く中、強豪相手に苦戦が予想されましたが、西高野球部は保護者・卒業生のみなさんに加え、大型バスで応援に駆けつけてくれた多くの西高生の声援をバックに接戦を展開しました。

0対2と接戦で迎えた6回表の攻撃、1死3塁の場面でスクイズが成功せず、2死走者なしと静まりかえるベンチに対して、3塁コーチャーボックスの内海主将は大声を出してチームを鼓舞していました。

毎回のように走者を出しながらも懸命に丁寧にコーナーをつき、後半は足をつりながらも粘投した遠藤投手、三浦捕手との3年生バッテリーを中心に守り抜き、0対4で最終回の攻撃を迎えました。

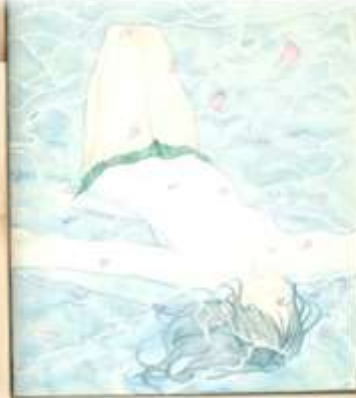
この回先頭の阿部遊撃手が、この日3本目の安打で出塁すると、石垣監督は代打に内海主将を送りました。内海主将は死球で繋いで無死1・2塁と攻めたてましたが、あと一本が出ず、惜敗しました。

保護者の皆様、卒業生の皆様応援ありがとうございました。応援してくれた西高生諸君もお疲れ様でした。野球部の諸君、感動的な試合をありがとう。裏方で3年間支えてくれた主務の齋藤さんへの感謝を忘れず、1・2年生の新チームは「粘りの西高野球」の伝統を守って石垣監督・針生部長のもと、これからも粘り強く頑張ってください。

◇野球部主将 3年5組 内海 拓人 さん

試合当日は遠いところ、多くの方々に応援に来ていただきました。本当にありがとうございました。振り返ると楽しいことより、辛いことの方が多いう野球部での三年間でしたが、特に1年前にキャプテンに選ばれてからは日々野球のことばかり考えて生活していたような気がします。1, 2年生にはいつも石垣先生が言っているように「主体的に」活動してほしいと思います。支えていただいた全ての皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

## 互高美術展 ～入選作品～



〈会員奨励賞作品〉

西翔祭や野球部が熱戦を繰り広げている同日頃、14日（土）、15日（日）ナリサワギャラリーで互高美術展が行われました。

◇3年4組 若狭 なお さん

私は今回の互高美術展に「透明」というタイトルで出展し、会員奨励賞をいただきました。水上に若々しい少女が横たわっている構図で全体に桜の花びらを散りばめ透明感を演出しました。

展覧会は西翔祭に重なっており、特に3年生は作品制作と並行し西翔祭の準備をするという忙しい日々を過ごしましたが、展覧会も西翔祭も共に成功させることができ良かったと思います。

来年度から互高美術展は東部地区美術展として新体制で生まれ変わります。参加校が最大で13校という現在の約2倍にもなり、さらに多くの絵に触れることが予想されます。その中で1・2年生には様々な刺激を受けて感性を研ぎ澄まし、よりよい作品の創作に励んでいただきたいと思います。